

## 「プラントメーカーの技術継承の整理／可視化」

日立GEニュークリア・エナジー(株)  
花村 郁男

### 1. メーカーにおける技術継承およびノウハウのデータベース化について

プラントメーカーの技術継承については、従来OJTを主体に進めてきているが、OJTの補完として、以下のような方策をとっている。

- ①設計業務の進め方を文書化・データベース化することにより、技術継承を行う。
- ②各設計仕様書について「設計標準」(＝設計の標準化)を作成するなど、「設計のためのガイドライン」を作成している。
- ③熟練技術者の経験に基づくノウハウについて、極力文書化したり、製作・据付方法等を映像化することにより、ノウハウの技術継承を図っている。

なお、本発表では、メーカー業務の中核である「設計」「製造」「据付」について纏めた。

### 2. メーカーにおける技術基盤維持・人材育成の必要性について

現在、新規プラント建設の具体的計画がないため、幅広い人材を育成することが困難な状況にある。

日本のメーカーは“モノづくり”なしでは成り立たず、モノづくりを継続していくためには技術基盤の継承が必要である。

また、常に世代交代があるので、技術基盤維持のためには次の世代に技術を伝えることが必要である。

メーカーにおいて、技術基盤維持はビジネスを継続するために死活問題であり、そのためには、人材育成・確保が必要である。

人材確保のためには、一定量の仕事が必要であり、OJTによる技術継承が必要である。国内新規プラントの建設が不透明な現在、輸出等で対応せざるを得ない状況にあるが、輸出の成立までには時間を要するため、各分野の継続的な仕事量の確保が難しい状況にある。

プラントメーカーの技術維持、また、弁等の専門メーカーの技術維持にとって、現在、大変な状況にある。